

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|--------------|
| ○事業所名 | わいわい子ども教室那覇校 | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 2月 20日 | | ~ R8年 3月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 2名 | (回答者数) 2名 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 3月 10日 | | ~ R8年 3月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 23日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 利用者を十分理解し、子どもと保護者のニーズが分析された上で、支援計画が作成されていること。 | 保護者に、都度ニーズや希望を確認する。 | 保護者からの要望を柔軟に取り入れ、子どもに変化・成長があった時は支援内容を再検討する。 |
| 2 | 就学に向けて保護者の要望を含め、利用者に合わせたオーダーメイドの療育ができる。 | 利用者の成長に合わせて支援内容を準備している。 その日の体調や気持ちに合わせて、臨機応変に室内遊び、又は外遊びを選択している。 | 身辺自立・微細運動・自分の気持ちを伝えるなど、楽しんで取り組み、保護者と利用者達成感を感じてもらえるように工夫している。 |
| 3 | 個別療育を行っている。 指示が入りやすく、出来ることを増やすことができる。 | 活動では出来た！を増やし、自信に繋がるように声掛け促しを行う。 | 楽しい支援内容になるために、支援者も学ぶ機会を作る。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---------------------------------------|
| 1 | 専門職による支援。 | OT・PT・STなどの専門職による直接的な支援が望ましいが、確保できていない。 | 必要な人材が確保できるまで、現場の支援者が研修を重ね支援に取り組んでいる。 |
| 2 | 地域や地域児童との交流が実施できない。 | 滞在時間の制限や土日が休業日あることから、地域との交流の場が持てていない。 | 地域自治会・地域子ども会との関係性を構築し、関わりを増やしていく。 |
| 3 | 保護者同士の交流の機会がない。 | 保護者からの要望がないため、交流の機会を設けていない。 | 今後要望があった場合、どのような形で開催するのか計画していく。 |